

1984年 8月20日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行 発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F 定価1000円

KSKP  
No.88

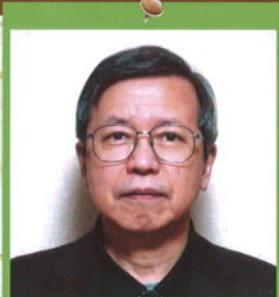
# かいつぶり通信

題字 酒井雄哉大阿闍梨

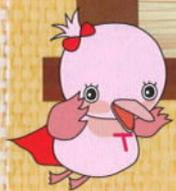
## かいつぶりエッセイ Vol.24

### プロフィール

1950年兵庫県但馬にて出生。1975年京都大学医学部卒業。京都市南区の吉祥院病院にて、てんかんの小児を診たことから小児の神経疾患の診断・治療の分野に進む。その後、島根医大小児科、鳥取大学医学部脳神経小児科、広島県立保健福祉短大(作業療法学科)、鳥取大学医学部保健学科(病態検査学講座)、途中でびわこ学園に勤務。現在は京都民医連中央病院検査科に在籍中。長らく診察現場との線が細くなっていたので、最近はネジの巻き直しです。趣味は、実物をみれる分野が好きです。



京都民医連中央病院  
富田 豊氏



### はじめまして

はじめましてと挨拶したものの、今年の6月から時々湖南の診療所へお邪魔しています。実は小生にとっては、滋賀県はなつかしいところです。1991年の春からしばらくの間、草津市にある施設「びわこ学園」に勤めていました。当時は子どもも地元の学校へ通いましたので、滋賀県の雰囲気にも慣れていました。その時期に、若い頃の植松先生にもお会いしています。

滋賀県は関西圏に属しながら大きな湖と深い山があり、他所では得難い自然を満喫できます。診療所の名前にもなっている「かいつぶり(にお)」も以前はたくさん居たらしくて、膳所の岸边には「におの浜」の名前も残っていますね。また、古代史上は大陸文化がびわこ周辺を伝わって大量に流れ込んだようで、西日本での文化の中心

地の一つともなり二度都があったともいわれますし、もちろん仏教史上は叡山という強烈な存在があります。滋賀県は派手ではないですが、じっくりと時間をかけると色々なものが味わえる贅沢な地域だと思います。小生の住まいは山科ですが、引きつづいて滋賀県下をあちこち訪ねてみたいと思います。

小生はこれまで、神経の病気の子どもの達や生理検査(脳波や筋電図)に関係する分野での短大や大学での勤務が長かったのですが、このたび植松先生に声を掛けてもらって診療のお手伝いをすることにしました。多少とも役に立てばよいのですが、来年春からは、湖北の診療所にもお邪魔するかもしれませんので、その節はまたよろしくお願いします。



### めくもり

Poem

### 「恋」

作：西澤美紀さん

恋は空気の様に勝手に心に入ってくる。  
今は恋していないな…。  
出会いがないから、半分あきらめちゃっている。  
今は本当の恋がしたい。  
空気のような恋。



### CONTENTS

- ★〈特集〉…………… 2-3  
～障がい者と仕事～ はた楽
- ★〈シリーズ〉…………… 4  
会員紹介:松永 里歩さん(ワークパートナーきらら)
- ★〈トピックス〉…………… 5  
湖南ホームタウン 第6回創立記念祭と文化祭開催  
障がい児・者との共生・共生をめざす作文(障がい児ふれあい作文)事業  
平成24年度 近畿ブロック指導者育成セミナー報告
- ★〈インフォメーション〉…………… 6-7  
ONW おたがいさんネットワーク ネットワーカー募集!  
Dr.植松のQ&A  
ご寄付ありがとうございます  
縁の下の力もちザン
- ★障がい者権利条約ってなに? …………… 8

～障がい者と仕事～

# はた楽

障がいがある人の働き方をシリーズで特集してきましたが、今回は重い障がいがある人にとって“働く”意味とは何なのかを考えてみたいと思います。故田村一二氏は働くことを「傍(はた)の人まで楽しくさせる行為=はた楽だ」と述べています。この言葉の意味を確かめるために、かいつぶりハウスの事業である、かいつぶりクッキーと蛍焼陶芸工房で働く、利用者の皆さんの様子やそこに関わる職員さんのお話を伺い、「働く=はた楽」意味のヒントを得たいと思います。



▲オープンレンジの前でクッキーが焼けるのを見張る役割の利用者。

## かいつぶりクッキー

- 利用者: 18名
- ボランティア: 5名(火曜3名、金曜2名(主婦中心))
- 活動日: 週2回(火、金/10時~12時)
- 報酬: 1回150円



▲材料を混ぜる人と、生地を伸ばす人、クッキー型抜きをする人に分かれて作業をする。

### ●担当職員から

クッキーづくりでは1回150円の報酬をお渡ししています。もちろん、この額は通常の働き手とは比較できるものではありません。ただ、このわずかな報酬は、ものが出来たこと“働く”ことの成果として受け取っていただけます。中には報酬が楽しみで仕事をしている人もいます。作業はその人ができることをして頂いています。例えば、オープンの前の3人の重度障がい者の方は、オープンが「チン」と鳴ったら手を挙げて声を出し、作業をしている私たちにクッキーが焼けたことを知らせてくれます。

たった数秒の彼らの役割は、クッキー作りの作業工程の中で、彼らしかできない役割です。ここでは、仕事の量の大小に関わらず、クッキーづくりの仕事に関わる全ての人々が気持ちよく作業ができる仕事場だと思っています。

### 野上 由紀子

勤務3年  
クッキー活動3年



野上さん(左から2番目)とクッキーづくりのボランティアの皆さん。

## 蛍焼陶芸工房

- 利用者: 登録者15名(毎回の参加は7~8名)
- 登録ボランティア: 10名(毎回の参加は3~5名、主婦、陶芸愛好者、その他)
- 活動日: 週2回(月、木/10時~12時)
- 報酬: 収益金で年2~3回、お花見やパーティーなどを開催



▲内田くんの人気のある作品は、ほぼ一人で作り上げる。

### 橋 恵子

勤務7年  
陶芸工房1年

橋さん(右端)とボランティアの皆さん。

### ●担当職員から

陶芸は土作り~成型~仕上~乾燥管理~素焼~絵付~施釉~本焼と工程が豊富です。また、利用者さんによって関心や技量が違います。そのため、興味や技能とのバランスを考えて、利用者さんに合わせて仕事をして頂いています。土が形になり、作品に仕上がっていく喜びを、その方なりに感じておられるんだと思います。理学・作業療法士さんの助言を得ることで、指が動きやすくなるなど機能の改善につながる場合があります。また、皆で分担して一つの作品をつくることで、一人でも欠ければ作品が仕上がらないという「個人の存在の大きさ」を感じていただけたら嬉しいと思っています。

さらに、作品が完成したり売れた時の喜びは、ご家族やボランティアさんをも幸せな気持ちにさせてくれます。仕事の意味はそんなところにあるような気がします。



## 湖南ホームタウン施設長から

### 高山 徹

勤務15年/湖北タウンホーム15年、  
湖南ホームタウン4ヶ月



私たちの仕事はコーディネートすることです。作業段階において人の役割をどうもっていくかが指導者に問われるところです。陶芸づくりにおいてもクッキーづくりにおいても、多くの作業工程があり、その行程の中で利用者さんがどの部分なら「できる」かを判断します。もちろん利用者さんの「したい」という思いも大事です。その「できる」と「したい」をつなぐことがコーディネートです。もし、利用者側に不快感があったとしたら、それは私たち指導者の責任になります。もちろん、「仕事」と言う限りは物理的な生産性も上げなくては行けません。だからと言って作業量をどんどん増やしていくことにはなりません。「やりがい、生き甲斐、働き甲斐」を利用者の皆さん、そして私たち職員やボランティアさんも含めた人が感じられる作業場にしていこうと、気持ちの上での生産性は徐々に上がっていくでしょうし、それが実際の品質や生産性の向上につながるのだと思っています。

1袋約10個入り(チョコ・チーズ・ゴマの3種入り)▶

★材料費 1800円 40袋生産(1日2時間)

★販売体制  
施設窓口: 100円/袋で販売  
守山駅前総合案内所: 150円/袋で販売  
ほたるの湯: 150円/袋で販売

★売上  
守山駅前総合案内所: 20袋/約2週間  
ほたるの湯: 20袋/約2か月  
施設: 20袋/約2週間

### ★最近の売り上げ状況

- ◎地域の行事でのブース販売も増え、最近では、立命館守山高校文化祭での代理販売で合計60袋完売。施設の実習に来た生徒から、学校でのクッキー販売の希望があり実現する。
- ◎守山駅前総合案内所の売り上げが徐々に伸びている。ふそろいのクッキーが魅力で1週間に1回、約10袋購入していただけるお客さんもいる。ただし季節により増減があり、夏場は売上減となる。



◀型に粘度をはめる作業やろくろを回す作業など利用者のできる作業を常に行っている。

## 「重い障がいがある人と仕事」

### 乗光 秀明

(社会福祉法人滋賀県障害児協会理事長)

「働く」ことの基本となる要素は以下の2点です。

- (1) 誰かが何かに「働きかけ」することで、何らかの変化をもたらされること。形が変わる、色が変わる、対象物の動作や機能が変わる…などです。
- (2) そのことによって、他者と自己に喜びが得られること。変化から価値が産みだされ、誰かが感動したり自分が満足することです。

だから、もっと働いて欲しいし、また働きたいと思われたいのです。

では、重い障がいがある方にとっての仕事とはどのようなものなのでしょうか。田村一二氏と共に近江学園を創設した池田太郎氏は「自己有用性の発揮とその確認」と考えていたようです。

重い知的障がいがある人が一心にこね上げた粘土作品や、心に深い悩みを持つ人の絵画の高い芸術性は、世界的に評価されています。一見、作者においては自らの手指の快感



を求めると、また、苦悩を絵筆から吐き出すためだけにとしか思えない作品であっても、それが他者から褒められたり売れたりすれば、どんなに重い障がいの方でも喜ばれます。同様に、クッキーのバターを溶くことだけにしか関われない人であっても、クッキーが売れたらとても嬉しそうにされます。自己の働きが社会的に承認されたことを自覚されたのでしょうか。これ

は、工場生産的、家内工業的あるいは、芸術活動的という仕事の種別に関わらず、普遍の意味を持ちます。

重い脳血管障がいがある人が、筆を持って文字を書き出されるときに、思わず前傾に姿勢を整えて集中しておられる様子は、人は「仕事」をすることで自己確認するのだと思ひ知ります。そして、こうした場に立ち会った私たちは、とても楽しい気持ちになります。私たちもまた、支援が無意味ではなかったと感じるからなのでしょう。これが田村氏が云う「はた楽」なのかも知れません。



# シリーズ

# トピックス

## 会員紹介

### 父母の会の頑張るメンバーを紹介



草津市肢体不自由児者  
父母の会の会員

## 松永 里歩さん

(ワークパートナーきらら)

松永里歩さんのプロフィール

平成4年8月15日生まれ  
草津養護学校高等部卒業後、  
平成23年4月「ワークパートナーきらら」入所

## 作業所大好き。絶対休みたくない!

草津養護学校の高等部を卒業し、ワークパートナーきららさんにお世話になり2年目になります。高校時代は、仲良しの友だちもでき楽しい青春を送っていましたが、卒業後のことを考えると心配ばかりでした。「何が向いているのだろうか」「車イスで対応できる作業所はあるのだろうか」「毎日の送迎はどうしよう」。

親子とも不安で迎えた作業所生活でしたが、やさしい職員さんや仲間にもぐまれ楽しく過ごすことができています。仕事内容も一人一人にあう作業を考えてくださり、娘はねじ入れやホッチキス止め、刺し子などを行っています。また、車イスでの生活は運動不足になるので、福祉センターの訓練室での運動も定期的に組み込んでいただいています。そんな細やかな支援のお陰で、大好きな作業所を休むことなく通っています。

仕事が終わった後は週に2、3回、移動支援を利用して福祉センターの訓練室で運動をしたり、近くのアルプラザ草津でアイドルのCDを買ったり、今はまっているビーズ作りの手芸品を買ったり、作業所でいただいた賃金でじょうずにやりくりしています。こうして充実した日々をすごせるのもたくさんの方に支えていただいているお陰だと感謝しています。

これからの生活については考えていかなければいけないことがたくさんあります。親としてできることは限られていますが、精一杯応援していきたいです。  
(文/母 松永美智子さん)



### 松永里歩さんより

今私はきららイベントに向けてよここいソーランの練習を毎日頑張っています。本番緊張すると思うけど練習の成果をみんなに見てもらいたいです。

### ワークパートナーきららの紹介

ワークパートナーきららは、働いてものができていく、洗浄して車椅子がきれいになり、そうして公園がきれいになっていく、そういったことで働く喜びを感じられる場所として開設されました。現在、あおばなクッキーやさし子商品の販売をしています。また、車椅子の洗浄やペットボトルキャップの分別、ネジの袋詰め作業、公園清掃なども行っています。

### ●所長の言葉

障がいのある人は特別な人ではなく、特別な支援が必要な普通の人です。みんなで助けあえる世の中になるよう、みんなが「きらきら」と輝けるようになることを願って、取り組んでいきたいと思います。

特定非営利活動法人きらら  
障害福祉サービス事業所  
ワークパートナーきらら北山田  
〒525-0061 滋賀県草津市北山田町304  
TEL:077-565-8480 FAX:077-565-6505

## 湖南ホームタウン 第6回創立記念祭と文化祭開催

9月16日(土)に、湖南ホームタウンの第6回創立記念祭と文化祭が開催されました。

父母の会では、全国肢体不自由児者父母の会連合会のさわやかレクリエーション「地域父母の会活性化支援事業の補助金」を受けて、ハンドアーチェリーのコーナーを設けました。障がいのある方もない方も、そして小さなお子さんも年配の方も、みなさんに挑戦していただきました。目に炎をのぞかせて、的をにらみ、真ん中めがけて思いっきり投げてはみたものの、大きく外れて…でも、応援の声に答えてもう一度。笑顔が絶えない楽しい時間は、地域の方も一緒に楽しめる交流の場となりました。大勢参加していただき、ありがとうございました。この「繋がり」をもっと大きくしていきたいですね。

広げよう、ハンドアーチェリーの輪!



## 障がい児・者との共育・共生をめざす 作文(障がい児ふれあい作文)事業



滋賀県障害児協会と滋賀県障害児者と父母の会連合会の共催で障がい児・者との共育・共生をめざす作文(障がい児ふれあい作文)事業を行っております。今年も多くの小・中学校から応募があり、216作品が集まりました。現在、その中から、選考委員によって優秀な作品を選考しております。受賞者の決定は、2013年1月末頃を予定

しております。受賞作品は、文集という形で皆さまに発表いたしますのでご期待ください。また、次号のかいつぶり通信でも受賞者の方々を掲載させていただきます。小・中学校の先生方、生徒さんまた、ご家族の皆様、ご協力いただき、ありがとうございました。次年度も、よろしく願っています。

## 平成24年度 近畿ブロック 指導者育成セミナー報告

今年度の指導者育成セミナーは、滋賀県障連の担当で、11月17日(土)~18日(日)、休暇村「近江八幡」で開催されました。各府県から、50名の参加となりました。

1日目は、NPO法人わーかーびー理事長の松坂優氏による「障がい者の住いの在り方について」の基調講演の後、同テーマでの、意見発表、意見交換が行われました。滋賀県からは、頼尊氏が、湖北圏域での実情を発表されました。2日目は、「生活のしづらさなど、地域の現状と課題」をテーマに意見発表、意見交換が行われ、滋賀県からは、西川氏が、娘さん生活を通して見えてくる問題点、

課題等を発表されました。

各府県からは、通勤、通学を含む移動支援について、親なき後の問題、成年後見制度について、またケアホームオープンに向け活動をされている話など、活発に意見交換されました



▲頼尊恒信さんによる1日目の意見発表

◀西川勇さんによる2日目の意見発表

# インフォメーション

## ONW おたがいさんネットワーク ネットワーカー募集!

「おたがいさん」とは、双方向性があると云うこと。助けられたり助けたりという関係がおたがいさんです。近所の顔見知りの人たち同士のツナガリとキツカイが、「おたがいさん」の基礎になります。福祉や医療が危ういと云われて久しくなります。税収の枯渇で「公助」が危ない。年金や介護保険・医療保険などの「共助」も先が見え始めた。地域生活の最小ユニットである家族すら縮小や個別化で「自助」機能が弱りつつあります。残すは「互助」の再生あるばかりです。

これに気がついた市民が自発的に集まってネットワークを形成し、行政ともたれ合わない良好な関係を作り上げて、市民によるインフォーマルな互助機能を高めようとしています。これを難しく云いますと、ソーシャルキャピタル(社会関係資本)の育成と呼びます。箱物福祉から、ソフトな機能を高め合う新しい福祉の街づくりが始まります。



▲11月10日(土)に開催された「おたがいさんフォーラム」の様子



「おたがいさん」は市民の寄付金・知恵・労力を寄せ集めて、自主的に活動が続いている団体や個人へお届けします。次の3つから、1つ以上をお選び下さい。

- ①お金を集めて届ける(自己寄付金を含む)。
- ②アイデアをまとめて届ける。
- ③善意の労力を届ける(ボランティア保険に加入できます)

詳しくは下記までお問い合わせください。

●「おたがいさん」事務局  
かいつぶりハウス(湖南ホームタウン)内  
担当/下田義春(地域貢献コーディネーター)  
TEL:077-514-1685 FAX:077-514-1702  
E-mail:kaitsuburi@open-mind.jp

## Dr.植松の Q&A



### 植松潤治先生プロフィール

かいつぶり診療所 院長  
湖北グリープクリニック 院長  
日本小児科学会専門医  
日本小児神経学会専門医  
日本リハビリテーション医学会認定臨床医

平成元年滋賀医科大学卒業。医学博士。介護支援専門員。日本小児科学会、日本小児神経学会、日本リハビリテーション医学会所属。

### Q

現在妊娠中なのですが、出生前診断が血液検査で出来る、とテレビで見ました。どのようなものでしょうか。

### A

出生前診断の方法にはいくつかあります。よく知られている胎児エコー検査もその一つです。テレビドラマでも、妊娠が分かりお腹にエコーをあてて、医師から「順調ですよ」なんて言われて嬉しく微笑むようなシーンを目にしたことがあるでしょう。でも、そんなドラマで「ちょっと異常がありそう」と宣告される場面はそうそうないのではないのでしょうか。出生前に胎児に異常が見つかったら、母親初めその家族はどのように感じ、どのような態度・行動をとればよいのでしょうか。ドラマでは教えてくれませんが、「見えなければ考えない」そんな典型的なシーンかもしれませんね。最近では母体血清検査のように胎児・母体ともそれほど危険なく検査がうけられるようになってきました。胎児が母体に影響を与えたり、母体が胎児に影響を与えたりする危険を事前に察知できることは重要なことでしょう。しかし、それ以外で胎児に異常が見つかった場合、そのまま妊娠を継続すべきかどうか。それは、母親を含め家族や社会が真剣に考え、あらゆる医療・社会情報を得て判断していくべきでしょう。決して母親だけが悩む問題ではありません。詳しくは次のホームページを参照してください。



出生前診断情報センター ▶ <http://www.prenatal-diagnosis.info/>  
日本産科婦人科学会(出生前に行われる検査および診断に関する見解)  
▶ [http://www.jsog.or.jp/ethic/H23\\_6\\_shusseimae.html](http://www.jsog.or.jp/ethic/H23_6_shusseimae.html)

## 平成23年度 NHK歳末たすけあい義援金事業 助成金ありがとうメッセージ



### 地上デジタル放送対応テレビを購入しました 湖北タウンホーム

この度は、地上デジタル放送対応テレビ購入事業に助成金をいただき、誠にありがとうございます。

購入しましたテレビは、湖北タウンホームの障がい児様を対象とした日中一時支援事業で使用している居室に設置させていただきました。この年代の子どもさんにとって視聴覚からの刺激はととても重要であると捉えており、今後様々な日中活動において活躍してくれる事と思います。



### 災害時用ラジオを購入しました 湖南ホームタウン

このたび、NHK歳末たすけあい義援金助成事業の決定ありがとうございます。助成事業を受けて、災害時ラジオを10個購入いたしました。災害時に、入所者、職員、地域の皆様が情報を得られるのでとても助かります。ご寄付を心より感謝いたします。



## 縁の下の力もちさん

ご支援ありがとうございました!(平成24年9月~11月分掲載)

### 寄付金

【湖北タウンホーム・滋賀県障害児協会宛】

池田誠造様、石地正子様、なないろ様、松田 功様、乗光秀明様、伊藤幸子様、植松潤治様

【湖南ホームタウン・滋賀県障害児協会宛】

武 宏平様、林 皓子様、(株)松永製作所様、NPO法人音楽療法の会さざなみ様、藤居さし枝様、乗光三津子様

### ボランティア

【湖北タウンホーム】

虎姫老人クラブ様、小寄満智子様、伊藤ゆき奈様、古脇慶子様、間所祐加様、坂田侑香里様、長岡美里様、津本春陽様、坂野 滋様、西川 衛様、山田貞嗣様、田中真美様、吉田 麗様、古野勝廣様、石地正子様、月瀬みどり様、中川悦子様、尚永登美子様、吉田和子様、八森昌美子様、野村尚美様、ロードファミリア様、きらめき太鼓様、ローガンズ様、よさこい舞姫様

【湖南ホームタウン】

吉身学区社会福祉協議会ボランティア部会ボランティア登録者様、車椅子レクダンス矢車草の会様、レイカディア大学31・34期生様、楽々20様、男性ボランティアグループ「G・A・G」様、うり坊の会様、ドリーム18会様、キラッと22様、チューリップ23様、虹の会24様、なごみ会様、北川英次様、森田孝子様、吉岡信子様、芝田規子様、樋口操子様、中井静子様、大倉ミヤコ様、津田貞子様、津田善之助様、富満真智子様、伏尾佳子様、津田由紀子様、三本栄子様、平井ちあ子様、大岡道代様、日置まり様、木村世二作様、朝倉康夫様、川端永子様、森 とし子様、根来好子様、菅 邦子様、林 敏子様、宮崎敬子様、川邊康子様

### 物品ご寄付

【湖北タウンホーム】

山本千晶様、東野豊彦様、伊吹伊一郎様、草野道子様、伊藤幸子様、高橋敏樹様、山内 修様、南部広治様、増田亨子様、八木伸幸様、藤田尚樹様、大石友子様、滋賀県生命保険協会様、石田富農組合 石田俊治様、中村たつ子様、武藤敏美様、高須賀安子様

【湖南ホームタウン】

清水祐輝様、高田隼子様、世一寛行様、北河美恵子様、(株)すずらん郷様、津田貞子様、北川英次様

書き損じハガキがございましたら、  
父母の会事務局まで  
よろしくお願ひします。

# 障害者権利条約ってなに？

シリーズ第14回目

## 届いているかな？ 障がい者の声

イラスト：小林一美

声を届けたり、聞いてもらうのはまだまだ消極的な参加になってしまいます。今回の条約では、作成過程に当事者が参画することが重要なのです。「私たち抜きで私たちの事を決めないで」これが言われているスローガンです。



### 障害者権利条約から部分的に抜粋してご紹介します。

#### 第4条 一般的義務 (3) より…

締約国は、この条約を実施するための法令及び政策の作成及び実施に当たり、並びにその他の障害者に関する問題についての意思決定過程において、障害者(障害のある児童を含む。)を代表する団体を通じ、障害者と緊密に協議し、及び障害者を積極的に関与させる。

障害者の権利に関する条約和文テキスト(仮訳文)より。  
※外務省ホームページをご覧ください。

障害者に関する法は、リハビリテーションや福祉の観点から考えることが多いですが、障害者権利条約は人権の視点、障害者の視点から作られた条約であることが特徴的です。

## 滋賀県心身障害者扶養共済制度

この制度は、各都道府県が障がい者の保護者の相互扶助の精神に基づき、保護者死亡後の障がい者に終身一定額の年金を支給することにより障がい者の生活の安定と福祉の増進に資することを目的とします。加入者数は、口数ベースで、82,260人、年金受給者は、49,467人となっております。(平成23年度現在)加入者・受給者の皆様、住所等の変更がありましたら、扶養共済窓口までご連絡ください。

■扶養共済窓口  
TEL:0749-73-3910 FAX:0749-73-3920

## いつも元気でね健診

かいつぶり診療所では、障がいのある子どもを育てるご家族を対象に、血圧・血液検査などの健康診断を行なっています。保育・療育完備です。詳しくは下記までご連絡下さい。

お申込・お問い合わせはかいつぶり診療所まで  
TEL:077-514-1715



## 赤い羽根共同募金

社会福祉法人滋賀県障害児協会では、赤い羽根共同募金(社会福祉法人滋賀県共同募金会)からの配分を受けて、かいつぶり通信の発行をしています。

<http://www.akaihane.or.jp/>

赤い羽根共同募金ホームページ

### 編集後記

父の切る ふなずしかおる 年の暮れ  
「ふなずし」は父と私の大切な思い出です。年末には、お歳暮として皆様にお配りするのが常になっていました。重たい石を持ち上げ、ふなずしを出して、味見をし、「おお、旨い」と差し出されたふなずしのしっぽ。いつからか、ふなずしは私の好物になりました。でも、父が亡くなり、時折、お店のふなずしに手がのびますが父のあの味に勝るものなしでやめてしまいます。ふなずしだけでなく、四季折々の行事を大切にしてくれた父。匂いが連れてくる懐かしい風景。もう一度、会いたいな、お父さん。そしてありがとうございます。(松田)

### 【編集人】

#### 社会福祉法人 滋賀県障害児協会

〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1 かいつぶりハウス内  
[TEL]077-514-1685 [FAX]077-514-1702 [URL]http://open-mind.jp  
[E-MAIL]kaitsuburi@open-mind.jp

#### 滋賀県障害児者と父母の会連合会

〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1 かいつぶりハウス内  
[TEL]077-583-6395 [FAX]077-514-1702  
[URL]http://hubonokai.open-mind.jp [E-MAIL]info2005@open-mind.jp

1984年 8月20日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行 発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F 定価100円